第4回検討会・WG資料
資料5

設計事例の紹介について

1. 西葛西・井上眼科病院（医療施設）
2. さくらがわ地域医療センター（医療施設）
3. 山王歯科（医療施設）
4. アイン薬局　桜川店（薬局）
5. カスミ　筑波大学店（物販店舗）
6. 木曽路　春日部店（飲食店）
7. 有明アリーナ（スポーツ施設）
8. 有明コロシアム（スポーツ施設）
9. 築地本願寺（歴史的建造物）
10. 練馬区役所　石神井庁舎　駐車場（駐車場）

2020年12月25日
国土交通省住宅局建築指導課

西葛西・井上眼科病院(医療施設)

外観

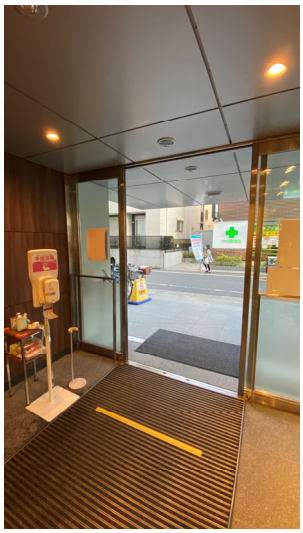
特徴

- 外来(一般、小児、コンタクト)と入院・手術に対応する地域密着型の「眼」の総合病院
- 「視覚」「聴覚」「触覚」による感覚で分かるデザイン
- 視覚障害者の利用に配慮したゾーニング
- 患者への調査に基づいたサインや音案内等を採用し、開設後には患者へのアンケートによるスパイラルアップを実施

建築諸元

所在地	東京都江戸川区西葛西3-12-14
設計者	鹿島建設株式会社
建築主	医療法人社団済安堂 井上眼科病院グループ
階数	地下１階、地上４階
竣工	2015年1月
建築面積	795.72㎡
延床面積	3438.21㎡
病床数	32床
付帯施設	駐車場12台（うち車椅子使用者用駐車施設１台）

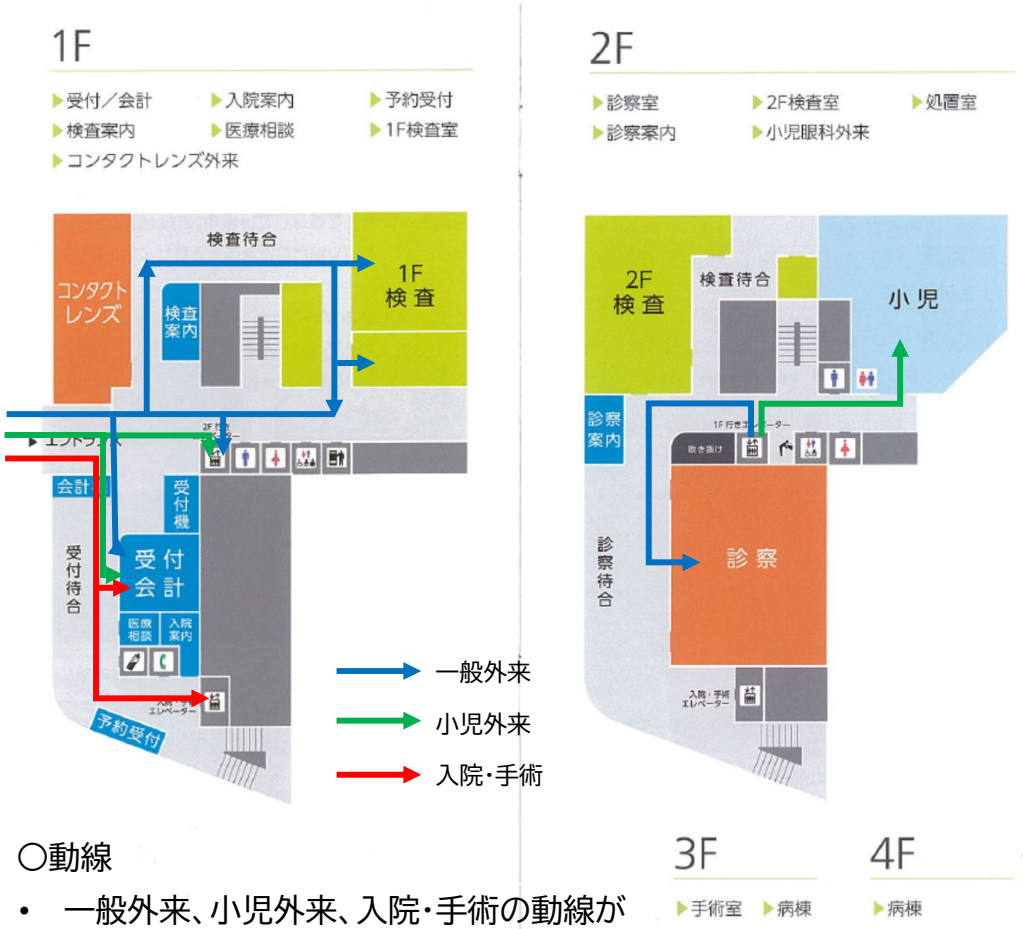
出入口



- 出入りの時に音で案内する装置により視覚障害者の誘導が行われている。
- スタッフを配置し、人的誘導を行っている。

- 出入口から道路側へ縁石を切り下げられている。

平面図　西葛西・井上眼科病院



○動線

- 一般外来、小児外来、入院・手術の動線が交わらないように配慮されている。

○色分けによるゾーニング

- 受付はブルー、外来はオレンジ、検査はグリーンと、エリア別に地図やソファ、照明の色を変えることでゾーニングしている。

視覚障害者等の誘導　西葛西・井上眼科病院

○受付／会計

- 視覚障害者誘導用ブロックの代わりに、足裏の感触（固い・柔らかい）や足音、白状の音で動線が分かるよう、絨毯にひし形の塩ビタイルが埋め込まれている（床の凹凸がないため、車椅子使用者やロービジョンの方が躓きにくい）。

○診察待合

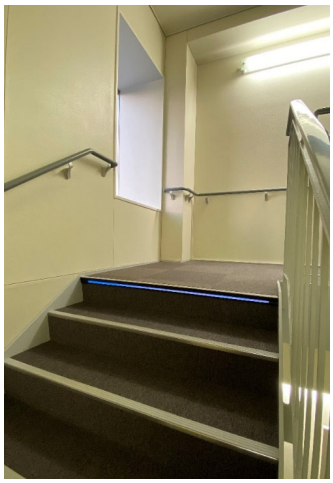
- 塩ビタイルの白ラインは進行方向を示しており、出入口やエレベーターの前にはサイズの大きなタイルが埋め込まれている。
- 動線上にはダウンライトを設置し、光が塩ビタイルに反射することで光の道筋が見える。

廊下・案内表示・階段　西葛西･井上眼科病院

- 火災時には避難方向が分かるよう、手すり下に埋め込まれた照明が火災報知機と連動し、避難方向に向かって光が点滅する。
- 患者がトイレや自分の病室を分かりやすいよう、扉の案内表示には光が当てられている。

- 見つけやすいよう、患者が利用するところの扉と壁のコントラストが確保されている。(患者が利用しないところの扉は壁と同系色)

- 館内の案内表示は見やすさに配慮し、濃い色の背景に白い文字としている。



- 段の始まりを分かりやすくするため、避難階段の最上段にはLED照明が設置されている(その結果、踏み外し防止にも繋がっている)。

エレベーター　西葛西･井上眼科病院

- エレベーターのかご(幅150cm、奥行き250cm)は、15人乗りでストレッチャーが入る大きさとなっている。

- 操作ボタンのサイズは目の見えづらい人にも押しやすい、直径6cmである。

待合・受付

西葛西・井上眼科病院

- 車椅子使用者のひざが入るよう、受付カウンターは下端高さ：約70cm、奥行き：50cmとなっている。

- 検査待合スペースには、車椅子使用者が利用できる空間が設けられている。

病室

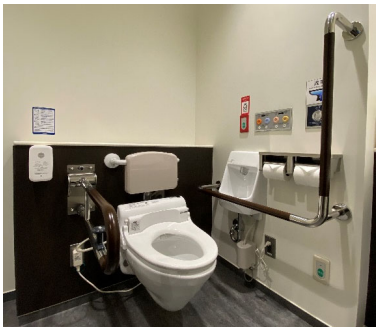
西葛西・井上眼科病院

- 病室の前には部屋番号を見つけやすいよう、手すり近くに浮き出し文字が付けられている。
- 入口を分かりやすくするために、各室の出入口近くの床の色を変えている。

- 照明やナースコールなどのスイッチは、操作しやすいように枕元にまとめて設置されている。

○共通

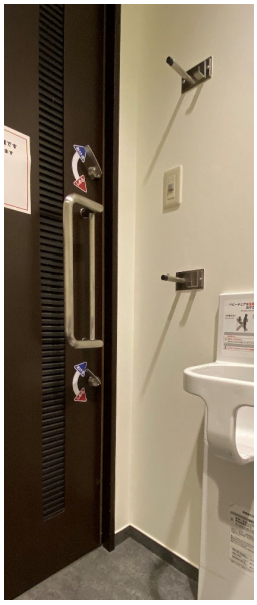
- 紙巻器、便器洗浄ボタン、呼び出しボタンは、JIS S20026に基づき配置されている。



- 器具と便器後方の壁、手すりの色にコントラストをつけることで、視認性を高めている。

○一般便房

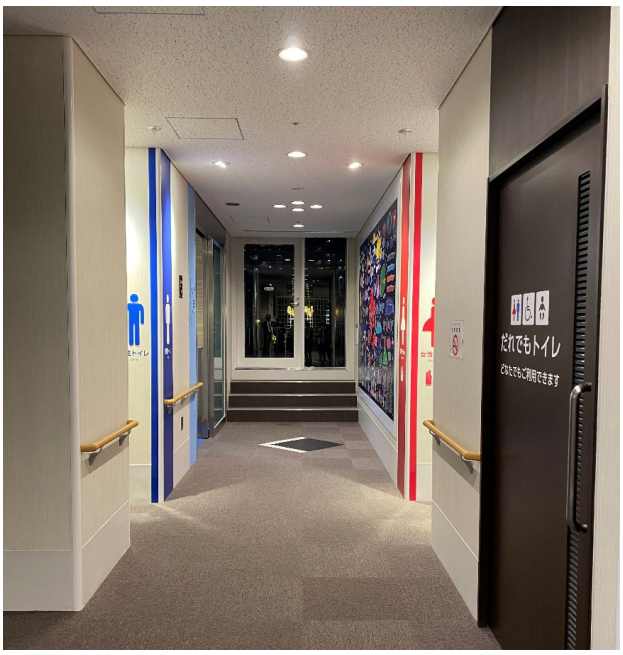
- トイレの出入口には指向性のあるスピーカーを設置し、男性用と女性用で異なる音色を出すことで、誘導を行っている。
- 音色は、患者にいくつかの案を実際に利用してもらい、男声コーラスと女声コーラスが採用された。
- 目の見えづらい患者に配慮し、トイレ出入口には立体的なサインを設置。



○車椅子使用者用便房（1階だれでもトイレ）

- 車椅子使用者の利用に配慮したスペース（ライニング含まず約1.9m×約1.7m）が確保されている。
- 便座の高さは蓋のない状態で約45cmで、背もたれが設置されている。
- 洗面台の足元にはスペース（床から高さ：約62cm）が確保されている。
- 戸には大きめのレバーハンドル錠が2箇所（床から高さ：約66cm、約135cm）、壁にはフックが2箇所（床から高さ：約100cm、約160cm）設けられている。
- 出入口の幅は約90cmとなっている。

開設後に約200名の患者へのアンケートを行い、分かりづらいとの意見が多かった2点を改善した。



〇2階　トイレ

- サインが見えにくいとの指摘から、遠くからでも認識できるようサインを追加した。
- いくつかの案を作成し、改良案のサンプルを1ヶ月仮設して、より認識しやすいサインを採用した。

〇1階エントランス　エレベーター

- 患者の動線上からエレベーターが認識しづらいとの指摘から、エレベーター前にLEDライトを設置し、点灯させた。
- その結果、認識率が77%から92%に向上した。

さくらがわ地域医療センター（医療施設）

外観

特徴

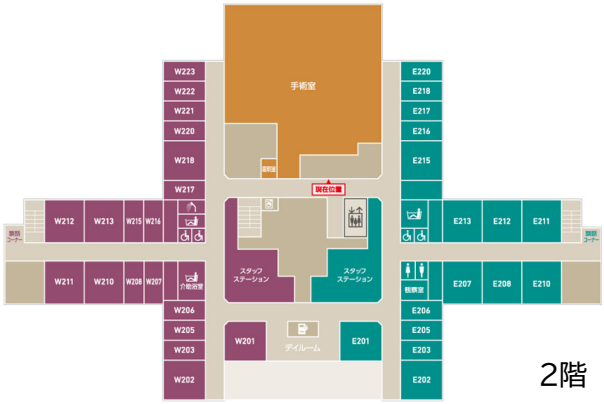
- 9つの診療科目と128床の病床を設けた医療施設
- 色による分かりやすいサイン計画
- 左右対称の車椅子使用者用便房の設置
- 車椅子使用者が乗降しやすいよう、後方に安全な通路が設けられた駐車場の整備

建築諸元

所在地	茨城県桜川市高森1000
設計者	株式会社andHAND建築設計事務所
建築主	桜川市
階数	地上4階
竣工	平成30年8月
建築面積	5,318㎡
延床面積	10,890㎡
病床数	128床（一般80床・療養48床）
付帯施設	駐車場423台（うち車椅子使用者用駐車施設4台）

平面図・サイン　さくらがわ地域医療センター

1階



2階

- 案内図はエリアごとに色分けされている。
- 各エリアの受付は案内図に合わせた塗装がされているほか、大きくアルファベットが表示されている。

3階

受付けカウンター　さくらがわ地域医療センター

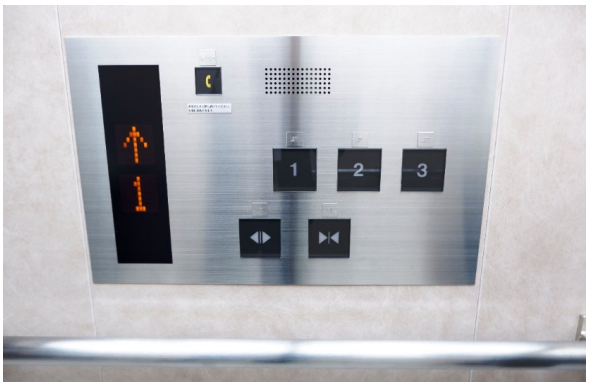
- カウンターには杖を立てかける備品が設けられている。

- 車椅子使用者のひざが入るよう、カウンターは下端高さ:70cm(上端高さ:74.5cm)、奥行き:35cmとなっている。

- 車椅子使用者のひざが入るよう、カウンターは下端高さ:72cm(上端高さ:75cm)、奥行き:34cmとなっている。

エレベーター・廊下　さくらがわ地域医療センター

- 廊下には設備機器の前にも連続して手すりが設置されている。



- エレベーターには押しやすいよう大きめのボタンが設置されている。

- エレベーターのかご(間口150cm、奥行き250cm、有効出入口寸法:120cm)は、車椅子での回転に支障がなく、ストレッチャーも乗る構造である。

トイレ　さくらがわ地域医療センター

○2階　車椅子使用者便房

- 車椅子使用者用便房(1.7m×1.7m)は、車椅子使用者が左右の移乗スペースを選択できるよう、左右対称の便房が2つ並んで設けられている。
- 便座には背もたれが設けられている。
- トイレの出入口は引き戸(有効幅:90cm)となっており、取っ手の形状は握りやすい押棒である。

駐 車 場　さくらがわ地域医療センター

- リフト付き車両等、車椅子使用者送迎用の自動車の利用を想定し、後部ドア側には、幅1.5mの安全な通路が設けられている。

- 車椅子使用者用駐車施設(奥行き5.9m)には、雨天時の乗降に困難が生じないよう、庇が設けられている。

- 視覚障害者の誘導を行うために、インターホンに至るまでの経路には視覚障害者誘導用ブロックが敷設されている。

- 車椅子使用者が押しやすい高さにも最上段の飲料のボタンを設けている。
- 紙幣投入口、コイン投入口、おつり返却口はすべて車椅子使用者が利用しやすいよう100cm以内の高さになっている。
- 飲み物の取り出し口は自動で開閉する仕組みになっている。

事例 3

山王歯科（医療施設）

外観

駐車場

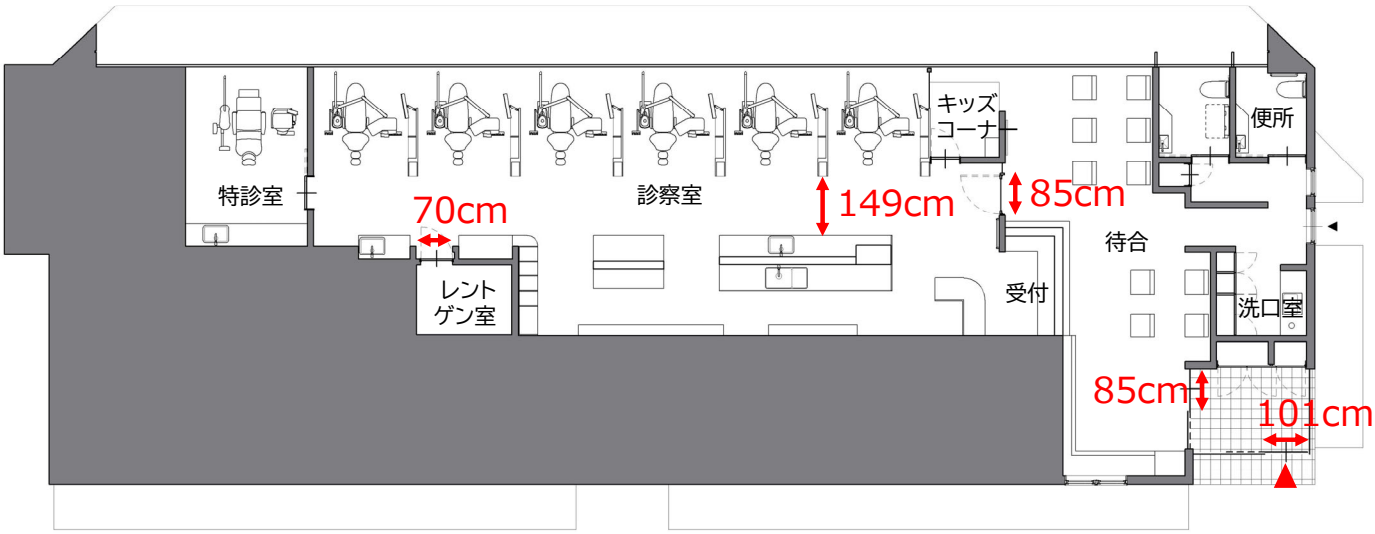
特徴

- ●地域医療センターに隣接した歯科
- ●出入口、診察スペースともに段差のない院内
- ●車椅子から移乗しやすい診察台を採用

建築諸元

所在地	茨城県桜川市高森1027
設計者	株式会社andHAND建築設計事務所
建築主	医療法人　隆仁会
階数	地上1階
竣工	平成30年10月
建築面積	299.88㎡
延床面積	297.17㎡
診察台数	7台（うち特診室1台）
付帯施設	駐車場9台(うち車椅子使用者用駐車施設２台)

店舗平面図　　山王歯科（さんのうしか）



出入口　　山王歯科（さんのうしか）

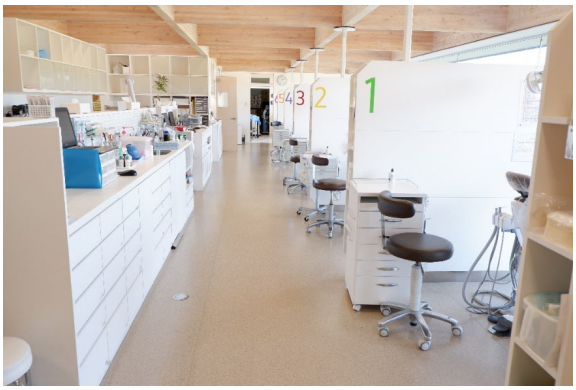
- 出入口の有効幅員は101cm、85cmで、その前後に段差はない。
- 院内に段差はない。

受付カウンター・待合スペース　　山王歯科（さんのうしか）

- カウンターの高さは90cmで、足元にはフットレストが入る25cmスペースが設けられている。

- 可動式の椅子を取り外すことで、車椅子使用者に配慮したスペースを確保することができる。

診察スペース　　山王歯科（さんのうしか）



- 診察スペースの番号は見えやすいよう大きな文字で表示されている。

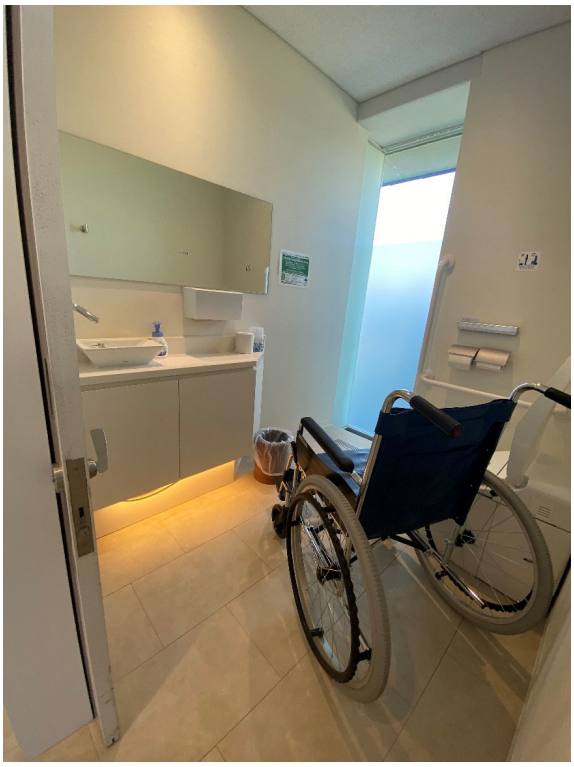
- 車椅子使用者が診察台に移乗できない場合には、車椅子のままで診察している。

- 車椅子から移乗しやすいよう、診察台のひじ掛けは可動式となっている。

備 品　　山王歯科（さんのうしか）

- 貸出し用の備品として、手押し車と眼鏡が準備されている。

- 一般便房には乳幼児用おむつ交換台が設けられている。



- 車椅子使用者用便房（1.4m×1.9m）の便座の高さは蓋のない状態で42cmである。

アイン薬局　桜川店（薬局）

外観

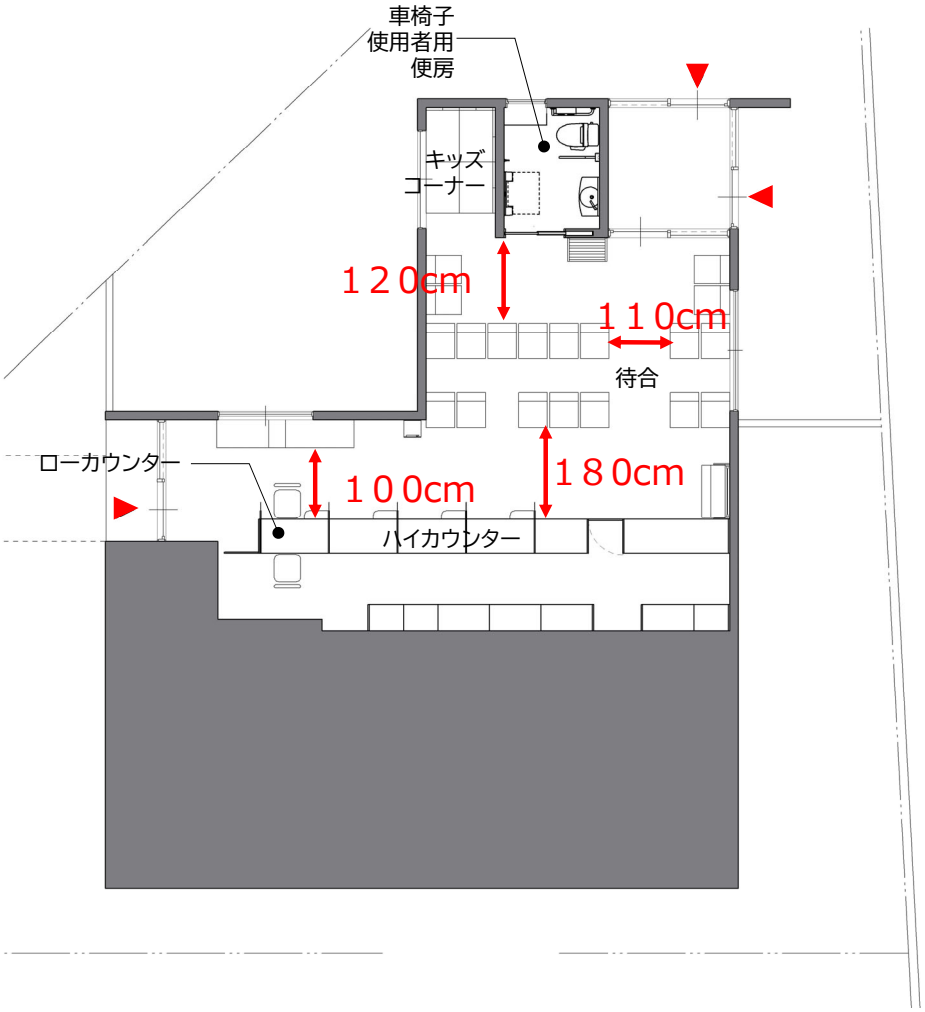
特徴

- 地域医療センターに隣接する薬局
- 車椅子使用者の利用に配慮したローカウンターと車椅子使用者便房を設置

建築諸元

所在地	茨城県桜川市高森1024
設計者	株式会社andHAND建築設計事務所
建築主	株式会社アインファーマシーズ
階数	地上1階
竣工	2018年9月
建築面積	119.24㎡
延床面積	117.17㎡

平 面 図　　アイン薬局　桜川店



カウンター　　アイン薬局　桜川店

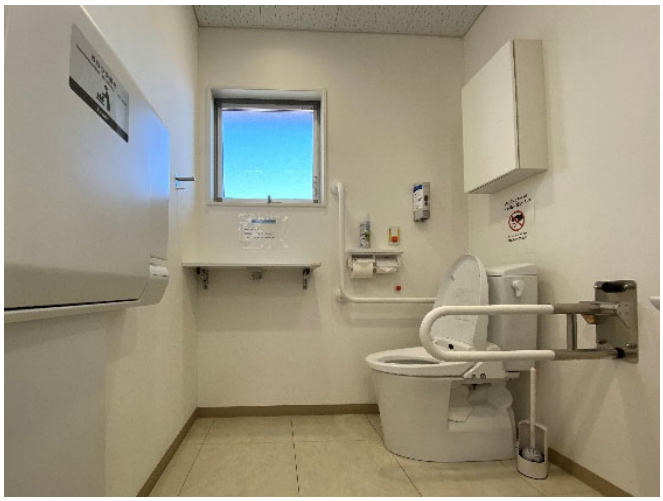
- カウンターの背後の通路幅は、車椅子使用者が通行しやすい幅員(100cm)が確保されている。

- 立位のカウンター(高さ:90cm)の横には、座って利用できるカウンターが設けられており、下端高さ:73cm(上端高さ:76cm)、奥行き:35cmとなっている。

- カウンターには杖を立てかけるくぼみが設けられている。

出入口・トイレ　　アイン薬局　桜川店

- 店舗出入口の前後に段差はない。
- トイレの出入口は引き戸(有効幅:90cm)となっており、取っ手の形状は握りやすい押棒である。



- 車椅子使用者の利用に配慮したスペース(1.6m×2.1m)が確保されている。
- 便座近くには手荷物置台が設置されている。

- 戸の鍵は大きめのレバーハンドル錠である。

カスミ　筑波大学店（物販店舗）

外観

特徴

- 筑波大学の学生がメインターゲットのスーパーマーケット
- 車椅子使用者が円滑に利用できる通路幅を確保し、案内板や値札には見えやすい文字サイズを採用
- 性別を問わず利用できる男女共用の便房を２個室設置

建築諸元

所在地	茨城県つくば市天久保3-1-10
建築主	株式会社 カスミ
設計者	株式会社 中山設計事務所
主要用途	物販店舗
構造	鉄骨造
階数	平層1階建て
竣工年	2018年9月（同年10月開業）
建築面積	999.4㎡
延床面積(売場面積)	965.8㎡(768.5㎡)
付帯施設	サザコーヒーアリアンサ店
その他	駐車場19台（うち多目的駐車施設1台） 駐輪場80台

出入口　　カスミ 筑波大学店

- 道路から店舗の出入口まで、戸の前後に高低差はない。
- 出入口近くの、車椅子使用者が利用できる位置にはインターホンが設置されており、従業員が携帯している端末へコールが入る仕組みとなっている。

通路・棚　　カスミ 筑波大学店

- 商品棚間は約235cm、約120cm、約160cmと車椅子使用者が円滑に利用できる幅員が取られている。

- 商品棚は車椅子使用者が選びやすい高さ、奥行きとなっている。

- 完全キャッシュレス決済店舗である。レジには従業員を常に配置し、個別対応を行っている。

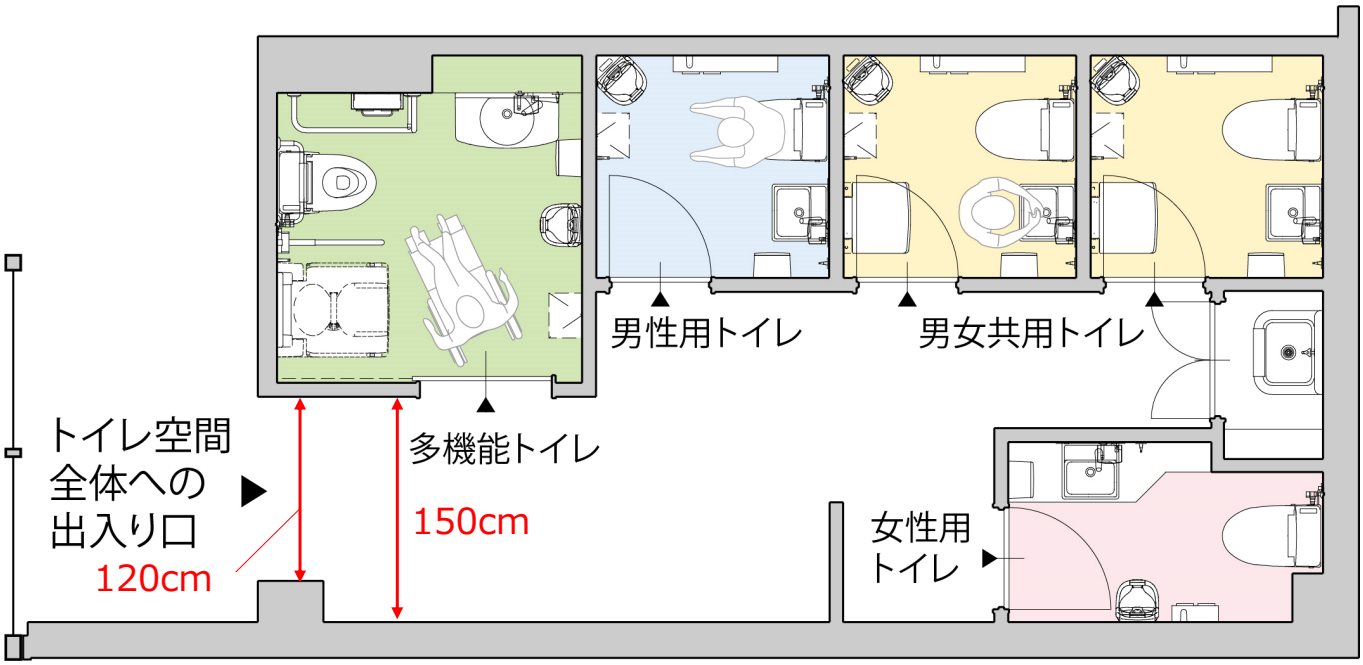
商品名の表示　　カスミ 筑波大学店

- 案内板の高さは132cmで、車椅子使用者の見やすい位置に取り付けられている。

- 商品名や料金等の表示には大きめの文字が用いられている。

- 筑波大学の留学生が多く来店するため、案内板には英語が大きく表示されている。

トイレ　カスミ 筑波大学店



- 男性用の便房、女性用の便房（各1個室）、男女共用の便房（2個室）、車椅子使用者用便房（1個室）が設けられている。
- 車椅子使用者用便房の出入口前には、車椅子使用者が方向転換できるよう150cmの幅員が確保されている。

平面図　株式会社LIXIL作成

トイレ　カスミ 筑波大学店

- 便所出入口の案内図、便房の扉には、ピクトグラムで設備内容が分かりやすく表示されている。

- 車椅子使用者の利用に配慮したスペース（2.0m×1.9m）が確保されている。
- 出入口の扉は引き戸（有効幅：79cm）となっており、取っ手の形状は握りやすい押棒である。
- 戸には大きめのレバーハンドル錠が設けられている。

木曽路　春日部店（飲食店）

外観

しゃぶしゃぶ

特徴

- 接待にも家族連れにも、食事を楽しんで頂くことを目指した和食レストラン（全国に123店舗）
- 落ちついた雰囲気、かつ客のニーズにあった部屋を用意

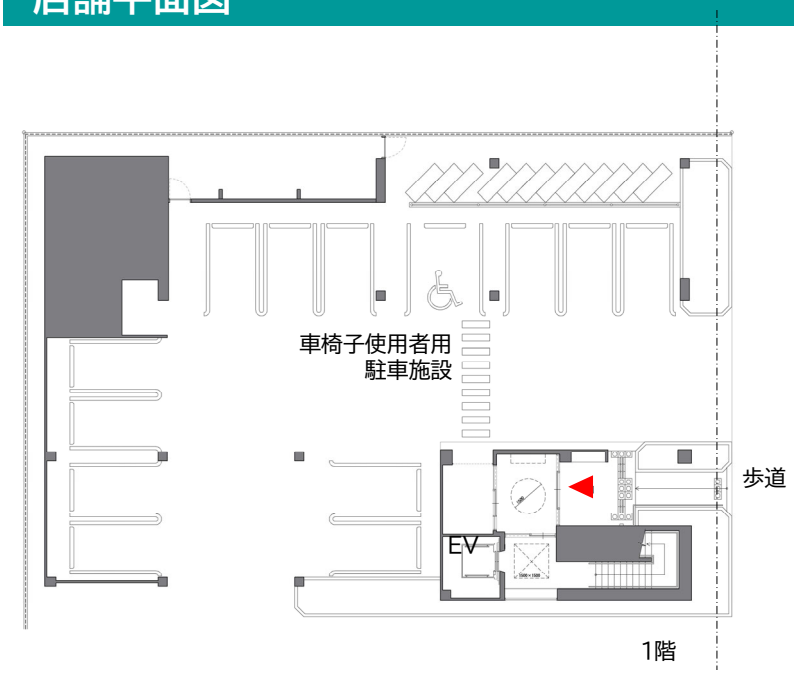
＜春日部店の特徴＞

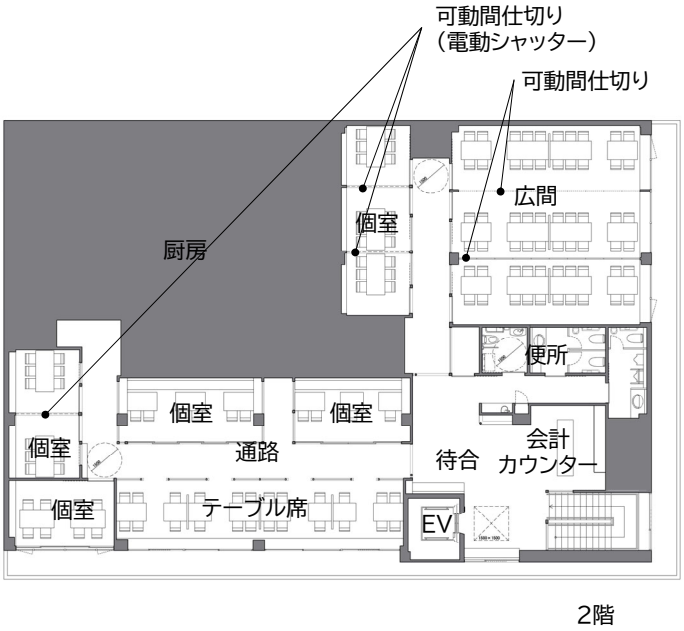
- 席の9割以上が可動式の椅子席
- 個室を9室用意
- 1階（駐車場）～2階（客席）に至るエレベーター、車椅子使用者用便房を設置

建築諸元

所在地	埼玉県春日部市豊町3-1-7
店舗形態	ロードサイド店舗
設計者	有限会社 エスアンドエイ
建築主	（株）木曽路
竣工	2020年9月
開業	2020年１０月８日
延床面積	1013.42㎡（建築面積：543.25㎡）
客席面積	約４５０㎡
客席数	150席（テーブル個室：９部屋）
付帯施設	駐車場37台（うち車椅子使用者用駐車施設：1台）

店舗平面図　　木曽路　春日部店



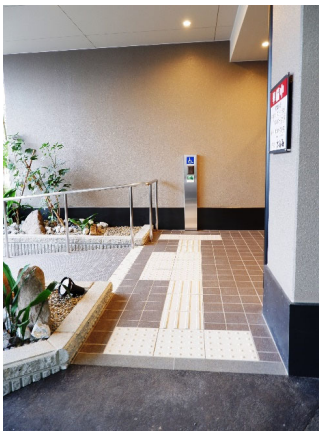


＜店舗の概要と、バリアフリー対応の取り組み＞

- 株式会社　木曽路は1950年に創業
- 2003年より、ピロティタイプの店舗（1階駐車場、2階客席）へのエレベーター設置、車椅子使用者用便房の設置等に積極的に取りくんでいる。
- 以前は固定席や座敷が多くあったが、現在では、多様なニーズや利用客の人数に柔軟に対応するため、ほとんどの席を可動式の椅子席（テーブル席）として計画している。
- 以前は座敷があったため、乳幼児連れ利用者には毛布等を貸し出していたが、テーブル席が主体となったため、乳幼児ベッド（備品）の貸し出しを行っている。

敷地内の通路・出入口、駐車場　木曽路　春日部店

○敷地内の通路・出入口



○駐車場

- 歩道から店舗の出入口まで、段はなく、緩い傾斜路（手すりの内法幅：140cm）でとなっている。
- 出入口の横にはインターホン（墨字に点字を併記）が設けられている。（駐車場通路からインターホンまでの視覚障害者誘導用ブロックの敷設あり）
- 1階（駐車場）の天井高さは2．7mであり、送迎のマイクロバスで、駐車場側からの出入口まで来ることが可能である。（送迎バスの利用は15名以上で可能（要予約））
- 車椅子使用者用駐車施設（1台）は、出入口から近い位置に設けられている。

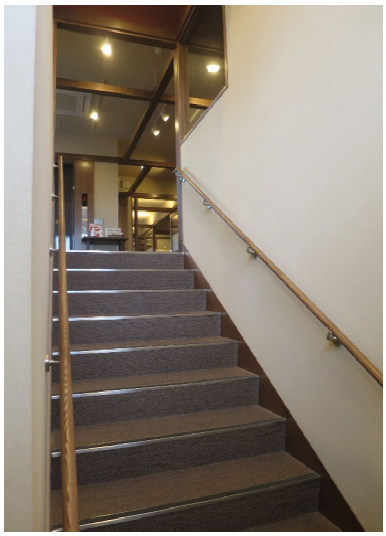
出入口、エレベーター、階段　木曽路　春日部店

○出入口

- 出入口（風除室）の戸は自動式引き分け戸（有効幅：130cm）、エレベーターホール出入口の戸は自動式片引き戸（有効幅：100cm）となっている。
- 風除室のメニュー台の下部に、貸し出し用の車椅子が備えられている。

○エレベーター

○階段



- エレベーター（音声案内付き）のかごは幅140cm×奥行き135cm、出入口の有効幅：80cmとなっている。
- 階段の寸法は、けあげ：18．3cm程度、踏み面：28cm程度であり、両側に手すりが設けられている。

待合・会計カウンター、廊下　　木曽路　春日部店

○会計カウンター

- 会計カウンター(高さ105cm)の裏側には、出入口・エレベーターのインターホンに対応した受話器があり、必要に応じて従業員がサポートする。
- 車椅子使用者用便房の緊急呼び出しボタンの受信機もある。

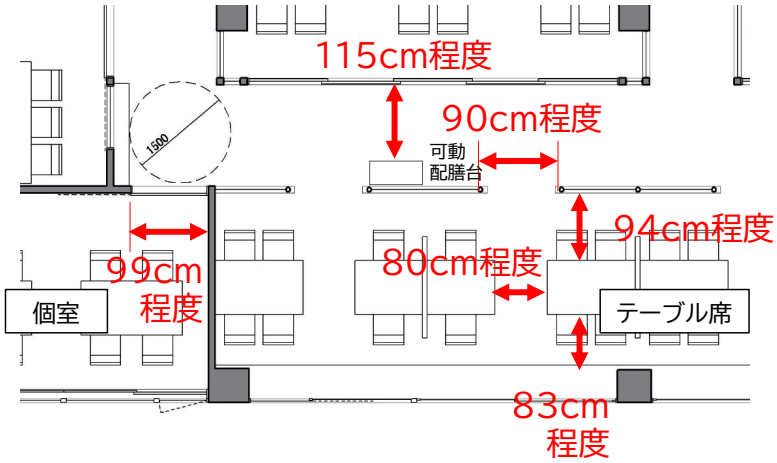
○待合

- 待合には、ゆとりのある広さが確保されている。

○通路

- 通路の有効幅は可動の配膳台を置いた状態で115cm程度となっている。

客席　　木曽路　春日部店



- 個室の一部(テーブルの片側のみ固定席)を除き、ほとんどの席が、可動式の椅子席となっており、テーブル・衝立も動かすことができる。
- テーブルの高さは70cm(下端の高さ67cm)、4人がけ席のテーブルの大きさは4人がけで130×80cm、2人がけで100×80cmとなっている。

客席、個室　　木曽路　春日部店

○個室

○個室（可動間仕切り付き）

- 個室は最大6室
- 一部の個室では可動間仕切り（電動シャッター）で、間仕切り位置・室の大きさを変えることが可能である。
- 乳児用ベッド（備品）を6台、備えている。（お食い初め等の家族イベントも多いため）

トイレ　　木曽路　春日部店

○車椅子使用者用便房

○男性用、女性用便所

- 男女共用の車椅子使用者用便房（1．9×1．9m）の出入口は引き戸（有効幅：80cm）となっており、取っ手の形状は握りやすい押棒である。
- 車椅子使用者用便房にはオストメイト対応設備、乳幼児用おむつ交換台が付加されている。
- 男女それぞれの便所の便房には、乳幼児用椅子が設けられている。

有明アリーナ（スポーツ施設）

外観

特徴

- ●東京オリンピック・パラリンピックに向けて新規整備
- ●都の取り組みとして、障害当事者や学識経験者等から意見を聴取しながら整備を実施
- ●サイトラインの確保された車いす使用者席を1.0%確保
- ●車いす対応トイレを25箇所、男女共用の便房を14箇所設置

建築諸元

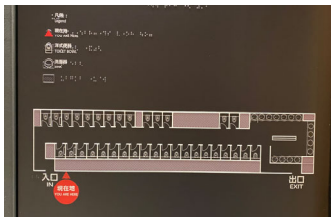
所在地	東京都江東区有明1丁目11番1号
設計者	基本設計：久米設計 実施設計：竹中・東光・朝日・高砂異業種特定建設共同企業体
建築主	東京都
構造	RC造、一部S造・SRC造
階数	地上5階
竣工	令和元年12月
建築面積	約25,100㎡
延べ面積	約47,200㎡
座席数	約15,000席（うち車いす使用者席150席）
付帯施設	駐車場153台（うち車椅子使用者用駐車施設5台） （五輪大会後工事の台数を含む）

※観客席数および車椅子使用者用客席数には仮設席を含む。

車いす使用者席　有明アリーナ

- 車いす使用者席は各階に分散配置されており、総座席数約15,000席（仮設席含む）に対して150席（仮設席含む）確保されている（1.0%）。
- 磁気ループ席は1,562席が分散して配置されている。
- 電動車椅子充電用のコンセントが設けられている。

- トイレの案内図はピクトグラムにより、機能が分かりやすく示されている。



- 便所の出入口には点字と便器等の設備に凹凸がつけられた、触知案内図が設けられている。
- 便房内にはフラッシュライトが設けられている。

○2階 車いす対応トイレ(大型ベッド付き)

- 一部の車いす対応トイレ(2.2m×2.1m)には大型ベッド(60cm×150cm)、オストメイト対応設備が設けられている。
- 便座の高さは42cm程度で、背もたれが設けられている。
- 大型ベッドと便器・オストメイト対応設備を区切ることができるカーテンが設けられている。
- 出入口(有効幅:95cm)は自動扉となっている。

有明コロシアム(スポーツ施設)

外観

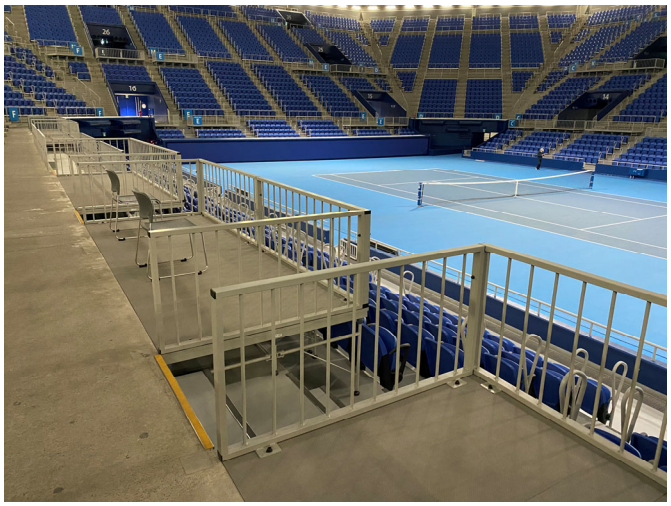
特徴

- ●東京オリンピック・パラリンピックに向けて、既存施設のバリアフリー改修等を実施
- ●都の取り組みとして、障害当事者や学識経験者等から意見を聴取しながら整備を実施
- ●サイトラインの確保された車いす使用者席を1.0%確保
- ●車いす対応トイレを15箇所、男女共用の便房を4箇所設置

建築諸元

所在地	東京都江東区有明2-2-22
設計者	環境デザイン研究所（当該改修工事）
建築主	東京都
構造	SRC造一部鉄骨構造
階数	地上4階
竣工	令和元7月（当該改修工事）
建築面積	約22,400㎡
延べ面積	約28,100㎡
座席数	約9,700席（うち車いす使用者席98席）
付帯施設	駐車場425台（うち車椅子使用者用駐車施設7台） (五輪大会後工事の台数を含む、有明テニスの森公園全体)

車いす使用者席　有明コロシアム



- 車いす使用者席は1～2階に分散配置されており、総座席数約9,700席に対して98席確保されている(1.0%)。
- 電動車椅子充電用のコンセントが設けられている。
- 2階～4階には磁気ループ席1,234席が配置されている。

- トイレの出入口には、触知案内板が設けられている。

- トイレの案内図はピクトグラムにより、機能が分かりやすく示されている。

○1階 車いす対応トイレ（大型ベッド付き）

- トイレ内にはフラッシュライトが設けらけている。
- 車椅子使用者の利用に配慮したスペース（2.4m×2.2m）が確保されている。
- この便房内には大型ベッド（60cm×150cm）、オストメイト対応設備が設けられている。
- 便座の高さは42cm程度で、背もたれが設けられている。
- 出入口（有効幅：95cm）は自動扉となっている。

事例 9

築地本願寺（歴史的建造物）

外観

特徴

- 1617年に創建、浄土真宗本願寺派の関東における拠点
- 現在の本堂は，関東大震災の後昭和9年に再建されたもので、設計は東京帝国大学名誉教授で建築史家の伊東忠太による
- 2014年12月10日、重要文化財に指定
- 車いすユーザー（障害当事者）を含む専門の調査・コンサルティング会社による調査を通して、施設内のバリアフリー対応（設備やサイン）に関する調査・提案を受け、今後の改善についての検討事項を作成したプロセス

建築諸元

所在地	東京都中央区築地3-15-1
竣工	1934年（1998年：本館に傾斜路、エレベーター、車椅子使用者用便房を設置）
建築面積	3149.40㎡
付帯施設	第一伝道会館、第二伝道会館、インフォメーションセンター、駐車場50台程度（うち車椅子使用者用駐車施設－台）、駐輪場は若干台

調査の概要

国の重要文化財・築地本願寺にて、 車いすユーザーがユニバーサルデザインの調査を行います

2019.11.26(火) お知らせ, 新着情報, プレスリリース

＜本件のポイント＞

■**85年前に建設された築地本願寺がユニバーサルデザイン化に取り組む**ため、ミライロと共同して境内施設の調査を行います。

■参拝者の多様化に伴い、環境の整備について考える局面を迎えている寺院ですが、**文化財や景観等の理由から、境内施設を大幅に変えるユニバーサルデザイン化の整備は厳しい**現状もあります。

■ミライロと共同することで、障害のある当事者の視点から現状の課題を把握し、**情報発信（主に誘導サインやフロアマップによる課題解決**を目指します。

■**2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて**、障害のある方や外国人観光客の方、ベビーカーユーザーなど、誰もが安心して訪れることができる寺院づくりを目標にしています。

株式会社ミライロHPより

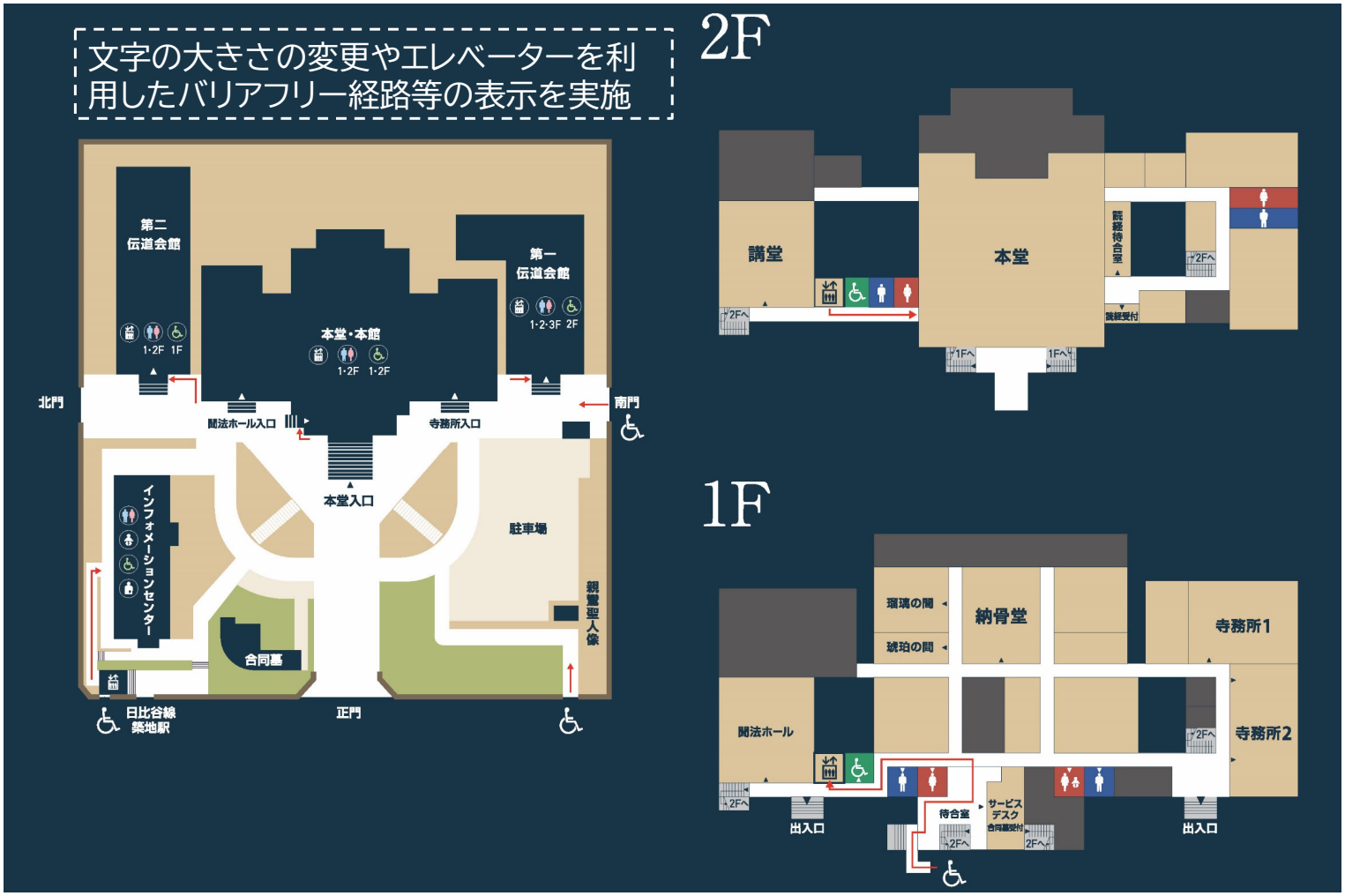
＜調査の概要＞

- アクセシビリティ、ユーザビリティの課題を抽出するために、車いすユーザーのサイン専門スタッフにより、施設内の各種設備や各サインの情報を現地にて確認し、必要な情報が発信され誘導がなされるか、視認性に不足がないかなどを確認
- 調査の対象とした設備は以下の通り
  - ・出入り口およびスロープや扉
  - ・福祉型便房
  - ・階段・段差
  - ・誘導サイン・マップ

資料出典：築地本願寺」施設・サイン調査報告書
2019年12月27日株式会社ミライロ

- 現時点において、このうち一部の案内表示の改善やweb上の情報サイトに掲載するフロアマップ等の改善を行った。

全体配置図（HPに掲載された案内図） －調査を踏まえた改善の例　築地本願寺



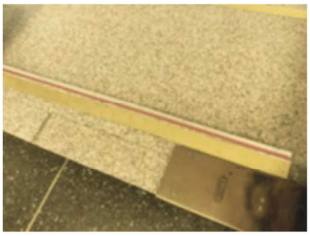
調査報告の概要（階段）

◆築地本願寺の施設における課題

前述の安全な階段の3つのポイントと、高齢者の見え方を考慮した上で、築地本願寺の設備と照らし合わせた場合、全ての条件が満たされていない状態です。そのため危険性が特に高い状態であると言えます。

- 段鼻の明度比が低く、視認性が低い。
- 段差の高さ・踏面が不均一であるため、高さ感覚が掴みづらい。
- 転倒防止につながる手すりが設置されていない。

現状の段差



白内障シュミレーション

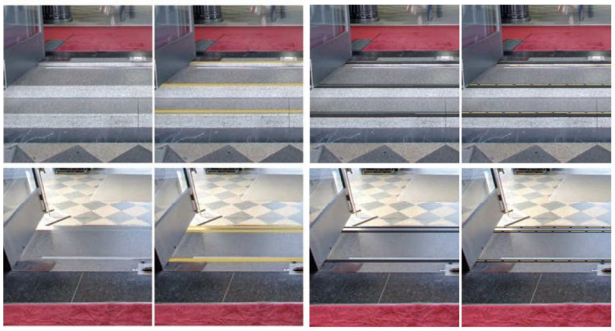
また、現状の築地本願寺の環境は、上面からの照明光より、正面からの環境光が強いため、段差が立体的に感じられない点も視認性を妨げている要因です。
（写真引用：©2009Google）

◆本堂2F階段の視認性を高める配慮

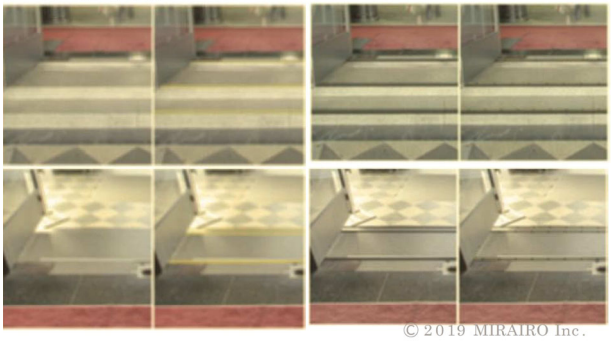
高齢者にとって効果的な階段の先端を黒くする表現でのシュミレーションです。最上段は段として認知しづらいため、中心に黄色の線を入れるなど、特に明確な様式が推奨されます。

本堂前上段　通常

ラインなし　ライン黄　ライン黒　ライン黒＋中心黄



本堂前上段　白内障シュミレーション



© 2019 MIRAIRO Inc.

© 2019 MIRAIRO Inc.

資料出典：築地本願寺」施設・サイン調査報告書
2019年12月27日株式会社ミライロ

階段（本館）－調査を踏まえた改善の例　築地本願寺

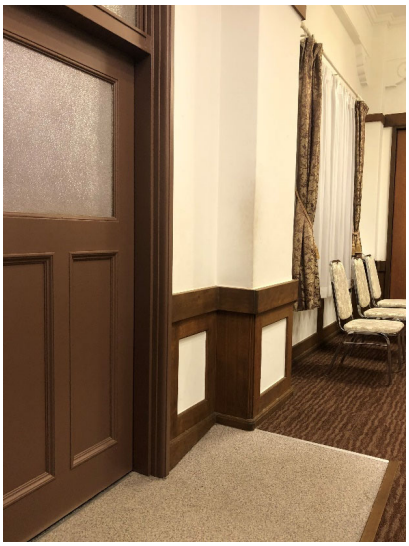
- 調査・提案を受け、階段の注意喚起のため端部の色の塗分けがされている。（柄については継続検討中。）
- 礼拝施設であること（デザイン）や重要文化財であることとの兼ね合いを考慮しつつ、その他の提案内容は今後とも可能な範囲で実現したいと考えている。

トイレ、控室（本館）　築地本願寺

〇車椅子使用者用便房

- 1998年に整備
- 出入口の有効幅員は91cm、車椅子使用者の利用に配慮したスペース（2.2m×1.6m）が確保されている。

〇控室



- 室内の段差を解消するために、傾斜路が設けられている。

調査報告の概要(トイレ)　築地本願寺

◆本堂1F

第５層から一部課題

車いすを利用している方が利用できる基本的な福祉型便房です。

対象利用者：
・高齢者、手動車いす利用者、介助者同伴の手動車いす利用者、電動車いす利用者、介助者同伴電動車いす利用者

現状の設備では以下の方に課題が発生する可能性があるため、対応手段と共に記載します。

片半身マヒ：ペーパーホルダーの位置が高いため（中心高さ1,160mm）、座位の状態で紙を切ることが難しいです。

対応：稼働手すり側にペーパーホルダーを設置することが推奨されます。

体幹に障害のある方：背もたれが設置されていないため、体幹を保持することが難しいです　。

対応：インフォメーションセンタートイレへの誘導、または後付けタイプの背もたれを設置することが推奨されます。

内部障害のある方：オストメイト対応洗浄機が設置されていないです

対応：インフォメーションセンターにオストメイト対応トイレが設置されいることを案内することが推奨されます。

◆本堂2F

第５層から一部課題

1Fの設備と同様です。車いすを利用している方が利用できる基本的な福祉型便房です。

対象利用者：
・高齢者、手動車いす利用者、介助者同伴の手動車いす利用者、電動車いす利用者、介助者同伴電動車いす利用者

現状の設備では以下の方に課題が発生する可能性があるため、対応手段と共に記載します。

片半身マヒ：ペーパーホルダーの位置が高いため（中心高さ1,160mm）、座位の状態で紙を切ることが難しいです。

対応：稼働手すり側にペーパーホルダーを設置することが推奨されます。

体幹に障害のある方：背もたれが設置されていないため、体幹を保持することが難しいです。

対応：インフォメーションセンタートイレへの誘導、または後付けタイプの背もたれを設置することが推奨されます。

内部障害のある方：オストメイト対応洗浄機が設置されていないです。

対応：インフォメーションセンターにオストメイト対応トイレが設置されいることを案内することが推奨されます。

- ペーパーホルダー位置の改善は今年度中に実施する方針

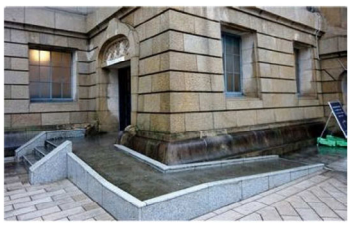
© 2019 MIRAIRO Inc.

資料出典:築地本願寺」施設・サイン調査報告書
2019年12月27日株式会社ミライロ

出入口(本堂)　築地本願寺

◆本堂1F入り口前スロープ

第５層からに一部課題



傾斜は4.4～5.5°（1/12勾配）程度で、介助なしでも上りは利用できます。反面、転落防止の立ち上がりが低く（5cm）手すりも設置されていないため、坂道を下る際には勢いが余って飛び出す可能性があり、心理的な負担が伴います。

提案：

環境面の対応：
手すりを設置し、転落を防止し心理的にも安全な状態にすることが推奨されます。また、傾斜道は、雨天時に杖を利用している方にとって、転倒に繋がりやすいです。スロープ部分だけでなく、階段部分にも手すりを設けていることが最も配慮が行き届いた状態です。

※推奨される傾斜の状態：1/12勾配かつ160mm以上の高低差の場合、手すりの設置が必要となります。（高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準）

資料出典:築地本願寺」施設・サイン調査報告書
2019年12月27日株式会社ミライロ

- 出入口の階段(けあげ16cm、踏み面30cm)には傾斜路が併設されている。
- 手すりの設置は今年度中に実施する方針

出入口（本堂）、貸し出し備品　築地本願寺

○出入口（本堂）

- 出入口内部にも傾斜路が設けられている。

○貸し出し備品

- 車椅子の貸し出しを行っている。

エレベーター、エレベーターから本堂（2階）に至る廊下（本館）　築地本願寺

○エレベーター

- 1998年に整備された。（整備前は1階：廊下の一部、2階：居室だったスペースを活用し、床に開口を開けてエレベーターを設置）
- エレベーター（かご間口80cm、奥行き152cm）が設けられている。
- エレベーターから本堂に至る廊下には段差があるが、傾斜路が併設されている。

○廊下

○本堂

トイレ、授乳室（インフォメンションセンター）　築地本願寺

- 2017年に情報発信と交流の拠点として、インフォメーションセンター（平屋、床面積884㎡）が整備されている。
- インフォメーションセンターには車椅子使用者用便房、授乳室が設けられている。
- 車椅子使用者用便房にはオストメイト用設備、乳幼児用椅子、乳幼児用おむつ交換台が付加されている。

敷地内の案内板、駐車場　築地本願寺

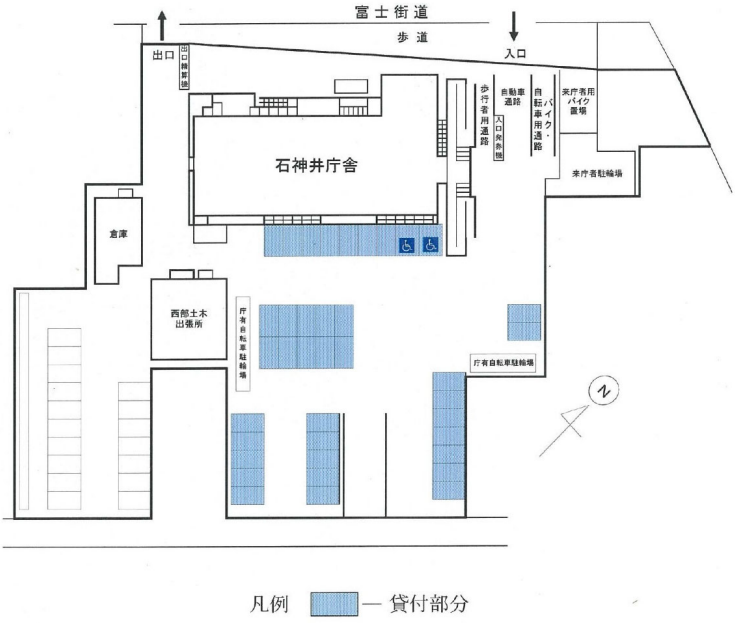
○案内板

- 段差のない出入口の位置のほか、ピクトグラムによりエレベーター、高齢者障害者等用便房（バリアフリートイレ）等が示されている。

○駐車場

- 第一伝道会館の前には車椅子使用者用駐車施設が設けられている。

練馬区役所　石神井庁舎　駐車場（駐車場）



特徴

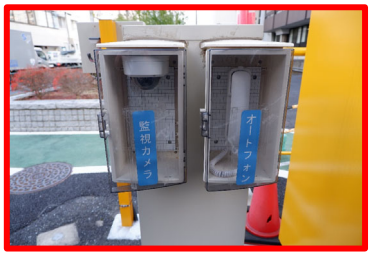
- ●一般の用に供する駐車場として500㎡未満の小規模の路外駐車場(フラッパーゲート式)
- ●障害者手帳を監視カメラにかざすことで、遠隔でゲート解除できるシステムを採用
- ●車椅子使用者駐車施設2台を設置

概要

所在地	練馬区石神井町3丁目30番26号
駐車台数	駐車場38台(うち車椅子使用者用駐車施設２台)
駐車場名称	三井のリパーク　練馬区石神井庁舎
営業時間	8:00~22:00
駐車料金	通常料金20分／200円 ※庁舎利用の場合、2時間無料 ※割引対象者（障害者手帳を持っている場合等）は完全無料

※2020年12月時点の情報です。

システム　　練馬区役所　石神井庁舎　駐車場



- 車椅子使用者用駐車施設2台に対して3ヶ所の乗降用スペースが設けられている。
- 出口精算機にオートフォンと監視カメラが設置されている。
- 障害者手帳を持っており、無料の認証を受けていない場合は、オートフォンでコールセンターに電話をかけて監視カメラに障害者手帳をかざすことで、遠隔でゲートを解除してもらうことができる。